

まちの話 題



佐賀大学公開講座IN小城市 男女共同参画を 新たな視点で

9月2日(水)から毎週水曜5回連続で、「女と男」もつとわかりあうための知的講座が開催されました。(10月7日終了)

佐賀大学が地域貢献の一環として市と共催で行う事業で、文化教育学部講師陣による「男女共同参画」をメインテーマにした講座に、毎週約40名が参加。女性と絵画、男らしさ・女らしさ、ピルによる女性のバースコントロール、ウーマン・リブ運動の先駆者ボーヴォワールの生涯など毎回違った主題の講座に受講者からは「知らないことがたくさんで毎回新しい発見がある」「男女で共に理解しあうことが大切」と感想を語っていました。



百歳以上の高齢者 を表敬訪問し ました



9月14日(月)、市長が市内の最高齢者である佐保治子さん(106歳)や、男性最高齢者の土井清次さん(103歳)、ほか百歳以上25人の高齢者の方の自宅や入所先の介護保険施設等を訪問し、長寿をお祝いしました。

お体に気をつけて、いつまでもお元気で過ごしてください。

たばこ販売業者 が社会奉仕活動

佐賀たばこ販売協同組合小城・多久支部(大坪幸佑支部長)は、9月16日(水)に市内老人保健施設など4施設を訪れ、タオルやお菓子を贈りました。

三日月町の鳳寿園では、女性部の増田美津子さんからタオルなどが手渡され、受け取った内橋博孝事務長は、「毎年訪問いただきありがとうございます。タオルは本当に助かり、入所者からも喜ばれています」とお礼を述べられました。

この奉仕活動は15年以上前から毎年敬老の日の前に実施されているものです。



忘れちゃいかん 梅! 交通ルール



秋の交通安全県民運動の一環として、晴田交番連絡協議会「天山会」が9月25日(金)に小城市の県道沿いで啓発活動を行いました。

集まったメンバーらは、里姫会が提供した牛尾の梅干しと、「忘れちゃいかん梅交通ルール」と書いた短冊をドライバーに手渡し、安全運転を呼びかけました。

「ようこそ」活動

実績第一弾

助成金獲得!!

牛津宿場華太鼓（大坪鈴代 代表）が、（財）佐賀県地域福祉振興基金助成金を獲得され、9月29日（火）に「グランデはぐくれ」において、決定通知書の伝達を受けられました。

今回は、CSO市民活動センター「ようこそ」を通じて助成金情報を得、CSO活動拠点サポーターの指導と連携が実ったものです。今後の活動の発展と「ようこそ」の利用並びに市民協働が進むことを期待しています。

【問合せ】

CSO市民活動センター

「やいせ」

（小城公民館内）

☎72-3566



小城ロータリー

クラブが高齢者

にバスタオルを

寄贈



9月30日（水）、小城ロータリークラブ（池田安正会長）より、バスタオル78枚を寄贈していただきました。これは、小城・三日月地区で寝たきり高齢者を介護しておられる家庭に毎年寄贈していただいているものです。

代表として三日月町の高塚幸恵さんに手渡されました。ありがとうございました。

金メダリストが

やってきた!

10月2日（金）芦刈文化体育館において、芦刈中学校の2・3年生を対象に文部科学省・勸日本体育協会「トップアスリート派遣指導事業」が開催されました。講師にはモントリオールオリンピック女子バレーボール優勝メンバーの田中（旧姓・金坂）克子氏を迎え、講話と実技指導を行っていただきました。

生徒たちはメダリストの貴重な経験談に耳を傾け、後半の実技指導ではグループごとの対戦形式でゲームを行い、バレーボールを通してスポーツの楽しさを肌で感じていました。



清掃ボランティア



10月22日（木）、小城市シルバー人材センター（真子國光理事長）の会員による清掃活動が市内各地で行われました。

この活動は、毎年10月の第3水曜日を「ボランティアの日」として実施するもので、集まった会員43人は、朝8時30分から植木の剪定や除草作業を行いました。

事務局の牧瀬さんは、「シルバー人材センターは、生涯学習の場であり、健康増進のためでもあります。元気になりますよ。興味のある方はお問合せください」と話されました。

【問合せ】

小城市シルバー人材センター

☎73-9669

第22回小城市芦刈

ムツゴロウロード

レース大会開催



10月25日（日）、芦刈ムツゴロウ公園周辺で、第22回小城市芦刈ムツゴロウロードレース大会が開催されました。秋晴れのさわやかな好天のなか、県内外より参加された約800人のランナーたちは自慢の健脚を競いました。